

SINOPSIS

「彼らが本気で編むときは」という映画の性転換者

序論

すべての人間は生まれてからの人権を持っており、排除することはできず、いかなる自由を得る権利も与えられ、いかなる理由においても区別されるべきではない。しかし、現実には社会で不当な扱いを受けいる人もいる。この不当な扱いを受けいる人々は少数派に所属であって、一例は性転換者である。日本の少数派と関連して、著者は「かれらが本気で編むときは」と呼ばれる日本映画からの性転換者の研究する。この映画には、りんこという名前の性転換の物語である。この論文では、著者はこの映画の性転換者周辺の人々の見解と防御を分析する。

この論文は、Georg Lukacs によって提案されたマルクス主義の理論を使用していた。Georg Lukacs は、文学作品は即時の抑圧と逆境からの人間の自己解放の過程でメディアになることができるはずと述べた。この理論は、この映画の性転換者を中心とした人々の見解がどのようになっているかを見出すために使用されている。それから、この論文では著者も解放的な批判的表現の理論を使った。批判的表現の理論は映画から性転換者の性格を取り巻く人々の防衛を見出すために使用されていた。

本論

この映画では、周りの人々の凛子についての見解があって、著者はこの映画の4人の人物を調べた。

1. ナオミというキャラクターがいる。ナオミはカイの母親でる。りんこに初めて見て以来、ナオミは凛子の外見が奇妙だと考えただけで否定的な見方をした。

2. それして、ともという名前のキャラクターがいる。最初はともは凜子を否定的に見たが、凜子と一緒に暮らした後、彼女は凜子の優れた性格し、凜子はともを気にかけているので、凜子を積極的に見た。
3. 次に、ひろみというキャラクターがいる。ひろみはともの母である。当初から、ひろみの凜子に対する見方は否定的なものであった。彼女は凜子が女性や母親になることはできないだろうと考えていた。
4. そして、かいという名前のキャラクターがいる。かいはなおみの息子で、彼の母親は凜子のことを否定的なイメージがあるだとおもったのに、かいは凜子がいい人だと思った。

次は凜子の周辺の人々の防衛について調べた。作者は映画の三人のキャラクターを調べた。

1. ふみこというキャラクターからの防衛。ふみこは凜子のお母さんであり、ふみこはいつも凜子を支援している。凜子が彼の本当のアイデンティティを明らかにしたとき、ふみこは凜子を決して非難しなかった。
2. ともからの防御。彼女の母親が凜子を侮辱したとき、ともは凜子を守った。ともは凜子の彼女への扱いが母親の扱いのようであると感じた。なおみが凜子は奇妙な人物であると言ったとき、トモもリンコを守った。
3. まきおからの防御。凜子が入院したとき、凜子は男性用の部屋に入れた。このことを知っていたまきおは看護師に腹を立てていた。彼によれば、凜子は病院から不当な治療を受けた、という理由でまきおは凜子を擁護した。

結論

結論は 映画の中で回りの人々から凜子に対するの思いは性転換負になる傾向がある。ほとんどの人見 は性転換者を外見からしかていない。

しかし、積極的な見方で性転換者を見る人もいる。なぜなら彼ら外見ではなく個性を見ている。彼らはまた性転換者を守って、彼らも性転換者にも同じ権利があると考えている。



DAFTAR ISI

HALAMAN JUDUL.....	i
HALAMAN PENGESAHAN	ii
HALAMAN PERNYATAAN ORISINALITAS	iii
PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI	iv
KATA PENGANTAR	v
DAFTAR ISI	vii
DAFTAR GAMBAR	ix
BAB I PENDAHULUAN	1
1.1 Latar Belakang Masalah.....	1
1.2 Rumusan Masalah	5
1.3 Tujuan	5
1.4 Metode dan Pendekatan	5
1.5 Organisasi Penulisan	7
BAB II KAJIAN TEORI	9
2.1 Teori Marxis Menurut George Lukacs.....	9
2.2 Transeksual.....	13
2.3 Tanggapan Masyarakat Terhadap Transgender/Transeksual.....	16
BAB III PANDANGAN MASYARAKAT TERHADAP TOKOH RINKO.....	18

3.1 Sinopsis.....	18
3.2 Pandangan Masyarakat Terhadap Rinko.....	19
3.2.1 Pandangan Naomi.....	19
3.2.2 Pandangan Tomo.....	23
3.2.3 Pandangan Hiromi.....	33
3.2.4 Pandangan Kai.....	37
3.2.5 Pandangan Petugas Perlindungan Anak.....	38
3.3 Pembelaan Masyarakat Terhadap Rinko.....	40
3.3.1 Pembelaan Fumiko.....	40
3.3.2 Pembelaan Tomo.....	45
3.3.3 Pembelaan Makio.....	50
BAB IV KESIMPULAN	50
DAFTAR PUSTAKA	52
SINOPSIS.....	54
RIWAYAT HIDUP PENULIS	57

DAFTAR GAMBAR

Gambar 3.1 Tomo Bertemu Naomi.....	19
Gambar 3.2 Rinko Minta Maaf Kepada Naomi.....	22
Gambar 3.3 Tomo Pertama Kali Bertemu Rinko.....	23
Gambar 3.4 Rinko Berusaha Mendekatkan Diri Kepada Tomo.....	24
Gambar 3.5 Rinko Berusaha Memeluk Tomo.....	25
Gambar 3.6 Rinko Mencemaskan Tomo.....	27
Gambar 3.7 Rinko Berusaha Menenangkan Tomo	28
Gambar 3.8 Makio, Rinko Dan Tomo Sedang Piknik.....	29
Gambar 3.9 Tomo Kesal.....	31
Gambar 3.10 Tomo Meminta Maaf Kepada Rinko.....	32
Gambar 3.11 Hiromi Menghina Rinko.....	34
Gambar 3.12 Petugas Konsultasi Anak Berbicara Kepada Rinko.....	38
Gambar 3.13 Pihak Sekolah Berbicara Kepada Fumiko.....	41
Gambar 3.14 Tomo Membela Rinko.....	45
Gambar 3.15 Tomo Menyemprotkan Cairan Sabun Kepada Naomi.....	46
Gambar 3.16 Makio Berbicara Kepada Suster.....	47